



石井康治
《彩花文器 宴》1994年

所蔵作品展 近代工芸の名品 — 花と人形

東京国立近代美術館工芸館
広報担当 cg-pr@momat.go.jp

当館に寄託されている登録美術品5点を、

はじめて一同に公開！

登録美術品の制度は、コレクター所蔵の作品の中から特に優れたものを公開するためのものです。

二代横山彌左衛門《菊花文飾壺》1889年
個人蔵（登録美術品）

人形作品だけでなく、「**人の形**」をモチーフにした
工芸作品やポスターも展示。



<人間国宝・巨匠コーナー>では動物を特集。

鈴木 治（鳥）、藤本能道（雪白釉釉描加彩竹雀図四角隅切筒）、田口善国（漆透かし絵 犬）、
寺井直次（金胎蒔絵箱 鹿柴）、佐々木象堂（型鑄造置物 瑞鳥）、長野埜志（白銅木兔花瓶）ほか。

タイトル	所蔵作品展 近代工芸の名品 - 花と人形 Flower and Doll from the Museum Collection	
会期	2008年2月26日(火)～5月11日(日) * 染織作品の一部を4月7日(月)で 展示替 します。 (前期のみ)木村雨山(縮緬地友禅梅文訪問着) 志村ふくみ(紬織着物 梅の段) 中島政子(刺繍着物 浅春) 森口華弘(古代縮緬地友禅訪問着 早春) (縮緬地友禅着物 梅文様) (後期のみ)玉那覇有公(苧麻でいごに蝶文紅型帷子) 鈴田照次(型絵染着物 夜香文) 藤村玲子(麻地両面染着物 伊集の花) 森口華弘(古代縮緬地友禅訪問着 四季の春) (縮緬地友禅花丸文着物 薫影)	
開館時間	午前10時～午後5時 * 入館は閉館30分前まで	
休館日	毎週月曜日(ただし3月31日、4月28日、5月5日は除く) * 各日とも振替休館なし お花見、G.W.の期間は休まず開館します!	
主催	東京国立近代美術館	
会場 (アクセス)	東京国立近代美術館工芸館 〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園1-1 Crafts Gallery, the National Museum of Modern Art, Tokyo 東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口 徒歩8分 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」2番出口 徒歩12分	
観覧料	一般 200(100)円 大学生 70(40)円 * 高校生以下(または18歳未満)、65歳以上の方、およびMOMATパスポート、キャンパスメンバーズ、障害者手帳等をお持ちの方(付添者1名)は無料 となります。 * ()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 * 割引・無料には学生証、障害者手帳等の提示が必要です。 美術館(徒歩5分)の各展覧会もご覧になる場合は、共通チケットがあります(有効期間1日)。詳細はチケット売り場でお尋ねください。	
無料観覧日	3月2日(日)、4月6日(日)、5月4日(日)	
お問合せ先	03-5777-8600 (ハローダイヤル) または http://www.momat.go.jp/	
人間国宝・巨匠コーナー	国内外の工芸やデザインを代表する作家の作品を常時紹介するコーナーです。 詳細は、P.1もご覧ください。	
関連イベント	ギャラリートーク	決まり次第 HP 等でお知らせします(全4回開催予定)。詳細はお問合せください。
	タッチ&トーク	ボランティアスタッフによるガイド。参考作品や制作工程等を手にとる <さわってみようコーナー>と、会場でのトークとでご案内します。 毎週水・土曜日 午後2時～ *参加無料(ただし、展覧会チケットが必要です) タッチ&トークの詳細は、 http://www.momat.go.jp/CG/touch_talk/index.html
プレゼント	展覧会をご紹介いただける場合には、 読者プレゼント用にチケットをご用意 します。	

近代工芸を創造してきた多くの工芸家たちは、豊かな自然が育む花の美しさや形象を描写し造形化してきました。伝統の色絵や蒔絵、友禅といった、箱や皿・鉢等の立体の器物や着物、衝立や屏風等の平面に工芸の規範的な意匠として洗練を見せ、工芸の魅力とともに作者の創意や個性、心情を巧みに表しています。明治期を代表する七代錦光山宗兵衛や初代宮川香山の色絵花瓶や、二代横山彌左衛門(菊花文飾壺)ほかの国の登録美術品5点をはじめ、伝統工芸のうちにクラシックとモダンを融合し現代工芸を刷新させてきた作家らの主要作品等、近代から現代へと発展してきた日本の工芸界を代表する作家らが花を主題として制作した名品約60点を紹介します。

近代の人形は、先駆的に創作表現を示した竹久夢二や川崎ブッペ、五味文郎、伝統を基調とした平田郷陽や堀柳女、鹿児島寿蔵、野口光彦らの創作が中心となって発展し、さらに友永詔三や浜いさを、四谷シモン、大島和代らが現代の造形としての可能性を見出し独自の創造としてきました。今回は、そうした人形作家の代表的な作品27点と併せてアクセル・ルーカスら外国の人形作家の作品や、陶芸の藤平伸や染色の芹沢銈介、長尾紀寿、金工の原正樹らの工芸作品、グラフィック・デザインの杉浦非水や亀倉雄策、福田繁雄、ノーマン・ロックウェルらのポスター作品を陳列し、人の形象を主題とした芸術表現の対比を試みます。



01 十三代今泉今右衛門 《色鍋島薄墨石竹文鉢》1982年



06

友永詔三
《花占い》1989年



主要作品

- 十三代今泉今右衛門(色鍋島薄墨石竹文鉢) 1982年 (写真01)
 - 七代錦光山宗兵衛(上絵金彩花鳥図蓋付飾壺) 1884-97年頃
 - 富本憲吉(色絵金銀彩四弁花染付風景文字文壺) 1957年
 - 松井康成(練上玻璃光大壺) 1999年 (写真02)
 - 石井康治(彩花文器 宴) 1994年 (表紙・上)
 - 音丸耕堂(周漆貝母文菓子器) 1960年頃 (写真03)
 - 松田権六(蒔絵玉すだれ文盤) 1953年
 - 前田南斎(チシヤノ木周御衝立) 1940年 個人蔵 (写真04)
 - 芹沢銈介(縮緬地型絵染着物 苗代川) 1958年 (写真05)
 - 森口華弘(古代縮緬地友禅訪問着 早春) 1955年
 - 長野埜志(沢瀉文棗釜) 1963年
 - 江里佐代子(截金六角組飾筥 六花集香) 1992年
 - 二代横山彌左衛門(菊花文飾壺) 1889年 個人蔵(登録美術品)
- (表紙・下)

- 竹久夢二(少年) 不詳 個人蔵
- 友永詔三(花占い) 1989年 (写真06)
- 野口光彦(陽炎) 1969年 (写真07)
- 浜いさを(変奏曲) 2002年 (写真08)
- 平田郷陽(桜梅の少将) 1936年
- 堀 柳女(供花) 1956年 (写真09)
- 四谷シモン(解剖学の少年) 1983年
- 藤平 伸(星月夜) 1986年
- 原 正樹(はにかむ王とその王妃) 1968年 (写真10)
- 杉浦非水(東京三越呉服店 本館西館修地区築落成・新塾分店 新築落成) 1925年
- 亀倉雄策(東京オリンピック) 1962年(1990年復刻) (写真11)



松井康成 《練上玻璃光大壺》1999年



音丸耕堂 《周漆貝母文菓子器》1960年頃



前田南斎 《チシヤノ木剛欲権立》1940年 個人蔵

芹沢銈介

《縮耐世壘絵染着物 苗代川》1958年



野口光彦 《陽炎》1969年



浜いさを 《変奏曲》2002年



堀 柳女 《供花》1956年

(左) 原 正樹
《はにかむ王とその王妃》1968年

(右) 亀倉雄策
《東京オリンピック》1962年
(1990年復刻)



02	03	04
07	08	05
09	10	11

年 月 日 ()

FAX : 03-3211-7783 (工芸課) 広報担当行 >>

写真データ 「No.」に をつけてご送信ください。

No.	作家	作品	(Title)	制作年	
表紙上	石井康治	彩花文器 宴	Vase, colored-flower design, "Utage (feast)"	1994	
表紙下	二代横山弥左衛門	菊花文飾壺	Ornamental jar with chrysanthemum motifs	1889	個人蔵 (登録美術品)
01	十三代今泉今右衛門	色鍋島薄墨石竹文鉢	Bowl, pinks design, underglaze grey and overglaze enamels, Nabeshima ware	1982	
02	松井康成	練上玻璃光大壺	Large Jar, <i>hariko neriage</i>	1999	
03	音丸耕堂	彫漆貝母文菓子器	Bowl for sweets, flower pattern, <i>choshitsu</i>	c.1960	
04	前田南斎	チシヤノ木彫嵌衝立		1940	個人蔵
05	芹沢銈介	縮緬地型絵染着物 苗代川	Kimono, "Naeshirogawa village", stencil dyeing on crepe silk	1958	
06	友永詔三	花占い	Flower Fortunetelling	1989	
07	野口光彦	陽炎	Heat Haze	1969	
08	浜いさを	変奏曲	Variation	2002	
09	堀柳女	供花	Offering a Flower	1956	
10	原正樹	はにかむ王とその王妃	Bashful King and His Queen	1968	
11	亀倉雄策	東京オリンピック	The 18th Olympic Games	1962 (復刻 1990)	

JPG データ以外もご用意できますので、必要な場合はお問合せください。

展覧会広報にのみご使用ください。著作権保護のため、他の目的でのご使用は固くお断りいたします。

掲載見本を広報担当へご寄贈くださいましたら幸いです。

ご担当者名 _____ e-mail _____

貴社名 _____

出版物・放送番組・サイト名 _____
(http://www. _____)

掲載予定号・発行日 / 放送・UP 日時 _____

PHONE () _____ FAX () _____

〒 _____
住所 _____